



2025日本のうたごえin
神戸・ひょうご実行委員長

石川康宏氏に聞く

いよいよ開幕の今祭典、実行委員長・石川康宏氏（神戸女学院大学名誉教授、経済学）。祭典実行委員会では毎回、現在の平和、政治状況のミニ講演もしていただいた。祭典マスコットキャラクター「かもタン」も着用。祭典、うたごえ運動への期待、今の情勢の中でのうたごえ運動への期待を語ってもらった。

——このたびは実行委員長をお願いしてお世話になっております。この間、開催地の実行委員会にも参加していただきましたが、参加されての感想や祭典への期待から聞かせてください。

実行委員会で政治状況のミニ講演

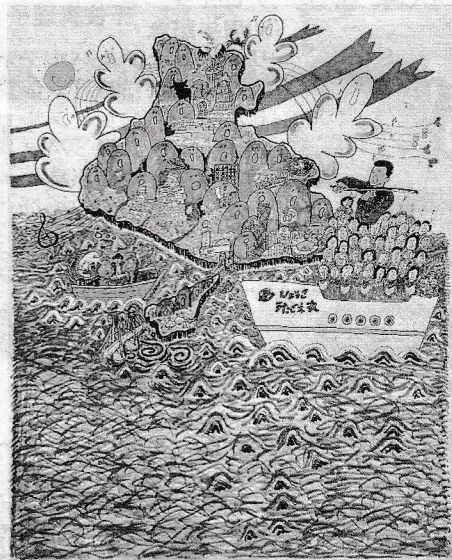
石川 あまり文化・芸術とは縁のない毎日ですが、ごしてきましたので、最初は「もっと適切な方を探して」とお断りしたんです。いろいろな市民団体への「広告塔として」と押し切られた

▲「社会の全体を聴き手として創造的に展開を、期待しています」石川氏



▲全国実行委員会であいさつ

2023年5月から実行委員会に参加して、せっかくだからと毎回「平和の問題」「政治の問題」について15分程度のミニ講義をしてきました。実行委員会は祭典準備の実務に忙しいので、そこからは議論が広がることはありませんでしたが、実行委員のみなさんの中にはいまの社会状況をしっかりと



▲2025祭典in神戸・ひょうご

りがあって、適切な歌の準備が進められているのだと思います。

立命館大学時代、合唱団「若者」の演奏

——先生とうたごえ運動、かわりには？

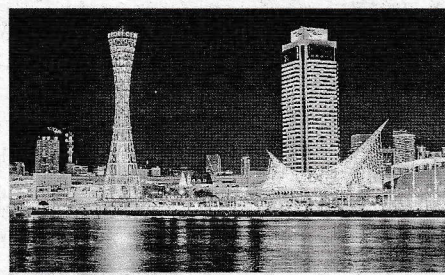
石川 半世紀も前になりますが、学生運動に忙しくしていた立命館大学には「若者」という大きな合唱団があり、いろいろな取り組みの現場でいっしょに歌を歌いました。わだつみ像（戦没学記念像）の建立だったかにかかわる大きな曲（組曲『わだつみ』）には聞きほれた記憶も残っています。夏の原水禁大会に向けて歌い、学生大会の準備に歌いと、あの頃は生活の中にいつも歌がありましたね。

社会に出てからは、う

今週の記事

- 4・5面 2025祭典in神戸・ひょうご合唱発表会、オリジナルコンサート全出場団体／出場団体から
- 3面 2025祭典田中嘉治企画委員長「夢を創り、追い求め、さあ開幕へ」
- 連載 「〈聴く〉を楽しむ」(小村公次)／「われらニヤがの合唱ニヤン」(古沢望)／試聴室／「空を見えますか」(池辺晋一郎)
- 7面 楽譜紹介「せんたく」／音楽会から千葉合唱団・合唱団まあぶる
- 8面 2025祭典in神戸・ひょうご 万響祭他に出演します「あゆちの太鼓衆」一命奏でる太鼓衆—次号は日本のうたごえ祭典開催のため11/24・12/1合併号(12ページ)です

神戸の町も楽しみに！



（3面につづく）

9条改憲、大軍拡推進高市政権、だが

——私たちは、歌で心をつないでより豊かな社会へと活動し、日本のうたごえ祭典はその集大成ですが、今の政治状況、どう見ておられますか？

石川 自民党と維新の会が手を組んだ高市政権が発足しましたね。高市さんが自民党総裁になったのは、党内の特に右翼的な人々の動きが活発になった結果でしたし、国会で過半数を得るために維新の要望をまるのみした政権合意の内容は、9条改憲、大軍拡推進、スパイ防止法、医療制度改悪、選択的夫婦別姓拒否とヒドイものです…。

たごえ運動に接しているという自覚はあまりありませんでした。しかし、実行委員長を引き受けてから、そういう目でまわりを見つめなおすと、最近も地方選挙での友人の当選祝いで歌集が配られて合唱が始まり、先日行ってきた広島的女性9条の会でも平和や国際友好にかかわる合唱が行なわれていました。いつでもそれをうたごえ運動ととらえてきたわけではあり

たごえ運動に接しているという自覚はあまりありませんでした。しかし、実行委員長を引き受けてから、そういう目でまわりを見つめなおすと、最近も地方選挙での友人の当選祝いで歌集が配られて合唱が始まり、先日行ってきた広島的女性9条の会でも平和や国際友好にかかわる合唱が行なわれていました。いつでもそれをうたごえ運動ととらえてきたわけではあり